

Human Rights Now <http://hrn.or.jp/>

地球上のすべてのひとたちのかけがえのない人権が守られるように



- ビルマの未来の法律家のために……………①②
- 活動報告……………③
- 「人権で世界を変える30の方法」出版記念イベント&パーティ…④⑤
- 活動報告……………⑥⑦
- ★HRN's eye……………⑧

ピースローアカデミー現地レポート

ビルマの未来の法律家のために—

みなさまからのご支援で2009年2月「ピースローアカデミー」は授業を再開することができました。ありがとうございました。未来の法律家たちに「人権」を教える講師として、現地へ向かった伊藤和子HRN事務局長のレポートです。

ピースローアカデミー支援開始！

タイ・ビルマ国境の町メイソット。そこから車で30分ほどいったメクという緑豊かな地域にある学校「ピースローアカデミー」。ここでは、ビルマ国内や難民キャンプからきた20歳から25歳のビルマの若者たちが法律、人権、民主主義について学んでいます。

ヒューマンライツ・ナウは、資金難により閉鎖されてしまったこの学校を支援し、2009年2月に学校の再開にこぎつけ、引き続き、人権教育の支援として8月から11月にかけて、毎月現地に講師を派遣することにしました。私（伊藤和子・HRN事務局長）と、2名のインターンはその第一陣として、8月3日～13日に「ピースローアカデミー」に滞在、学生たちに国際人権法を教えてきました。

ピースローアカデミーの学生たちにこの学校に来た理由をきくと、「ビルマでは人権がない。ひどい人権侵害にみんなが苦しんでいるから」と口ぐちにこたえます。「誰も自分が苦しんでいるのが人権侵害だということを知らずにひたすら耐えている。帰国したら私が人権についてみんなに伝えたい—自分たちを、みんなを、守るために。」

勉強に向かう目は真剣そのもの

そんな25人の学生たちの、勉強に向かう目は真剣そのもの。自分だけでなく、自分の国の人々のために、知識をどこまでも



ピースローアカデミーの教室

貪欲に吸収しようとし、目を輝かせる彼らに講義をするのは本当に素晴らしい、感動的な体験でした。

9日間の滞在中、19クラスの集中コースを実施して、主に世界人権宣言、人権諸条約について英語で学生たちに教えました。

ビルマでは軍事政権が深刻な人権侵害を繰り返しています。本来なら人権を守る憲法があり、人権侵害は憲法に違反する、という議論になるでしょう。しかし、ビルマの憲法では人権保障は極めて不十分です。国の中で「人権」について話し合うだけで逮捕されてしまう危険があり、「人権」について学校では

教えません。そこで、国際的な人権のスタンダードである「世界人権宣言」や人権諸条約を学び、世界ではどんな人権保障が実現されているのかを知ることがとても重要なのです。

国際人権法をもっとも必要としているひとたち

講義ではじめに「世界人権宣言」を勉強しました。1948年に国連総会で採択されたこの世界人権宣言は人権のスタンダードとして世界で共有され、ビルマ政府ですら無視できない、まさに基本文書です。学生にその条文を一条一条読んでもらい「ビルマではこの条項に反する事態がある?」と聞くと、どの権利についても「イエス」の声。ビルマでは、世界人権宣言のどの条文一つとっても、まともに実現していないのです。

学生たちの話からは普通の人々が日常的に人権侵害を受けている様子がわかります。「うちの村に軍がきていきなり家を没収した。軍にさか



らえないので家はとられたままだ」「内戦が続きどんどん自分たちの民族が殺されている」「強制労働や少年兵にとられてしまう。断ることは許されない」「歌をつくっても軍政に届け出て許可を得ない限り歌えない。」「小学校は無償じゃない。たくさん教材を買えない人は学校に行けない。」などの声、声、声。

だからこそそんな不合理な問題に対処する鍵となる世界人権宣言は彼らにとって驚きだったのです。ビルマで起きていることは、誰もが保障されるべき権利の侵害だ、と知ったのです。

私はこれまで、こんなに真剣に国際人権法について学ぶ人々の姿を見たことがありません。彼らにとって国際人権法は知識ではなく、苦境を脱するための糧なのです。彼らこそ、国際人権法をもっとも必要とするひとたちなのだ、と痛感しました。

学生たちに託す未来

まだあどけなさが残るの学生たちは、口々に「国際NGOで貧しい人々の支援の仕事がしたい」「ビルマに帰って弁護士として人権活動をしたい」と語ります。様々な民族の学生がおり、その中の四人の男子学生たちは「実は、自分たちはみんな同じ州からきたけれど、みんな民族が違う。上の世代は敵対し、いまだに戦っている。」と話してくれました。「でも自分たちは戦

いを望まない。自分たちが民族のリーダーになる時代がきたら、民族間の和解を実現して、もう紛争はおこさない。」

この学校を卒業した人々が未来の民族・コミュニティのリーダーとなって、民族間の平和共存に道を開く—それがこの学校のひとつの目的、「ピースローア



カデミー」という学校名にこめられた思いなのかもしれません。

学校の運営を担っているビルマ法律家協会の代表ウーテンウーさんは「卒業生には、アウンサンスーチーさんのような民主化運動をひっぱりリーダーになってほしい。これからのビルマには民主化運動のリーダーが一人ではなくたくさん育ていくべき。未来のリーダーを育てるのがこの学校の目的だ」と語ります。資金難や様々な困難の中でこの学校を守り運営してきた人々はこの学校にビルマの未来の大きな夢を託しています。

日本からの支援を

高い志を持った若者たちに、届けるべき教育はまだ不足しています。「もっと学びたい」と思い始めた学生たちから「今度はいつ教えてくれるの?」という多くの声がありました。これにこたえてHRNは、9月に矢花公平会員（弁護士）、10月に渡邊彰悟会員（弁護士）、田辺寿夫会員（ジャーナリスト）、11月に大川秀史会員（弁護士）を講師として派遣しました。

みらいの法律家の支援をお願いします!

みらいの法律家基金への募金をお願いします。

ご寄付いただいた資金はすべてピースローアカデミーの運営・支援の費用にあてられます。

■ゆうちょ銀行 口座番号 00160-1-429367

■口座名称 ヒューマンライツ・ナウ みらいの法律家
(ヒューマンライツナウミライノホウリツカ)

※銀行からの振り込みの場合

■銀行名 ゆうちょ銀行

■金融機関コード 0099

■店名 〇一九店 (ゼロイチキョウ店)

■当座預金 口座番号 0429367

■口座名称 ヒューマンライツ ナウ ミライノホウリツカ

コンピューターを譲ってください!

学校では学習用コンピューターが不足しています。使っていないラップトップPCをぜひお譲り下さい。HRNが現地に届けます。

※2000年以降くらいのものでOSにwindows vista/xp/me/2000が入っていたもの (macの場合はG3以降のもの)

※ご連絡はinfo@ngo-hrn.orgまでお願いいたします。

